

ご存じでしょうが ○○○(1)

藤本 茂樹 (田村)

空を飛ぶものは、鳥か虫か羽根のあるものが普通である。もみじの実はグライダーのように飛んでいつて落ちたところに芽を出す。たんぽぽは落下傘のように飛んでいつて子孫を増やす。人間は翼がないので飛べない。昔から鳥のように飛んでみたいと思つて数多くの人々が苦心してきた。そしてついに飛行機を發明して飛ぶ夢を實現した。

飛行機はプロペラ機とジェット機の二つに分けることができる。第二次大戦中の飛行機は大体において二千馬力前後であつた。今でも人気のある零戦も二千馬力以下であつた。プロペラ機のスピードには限界がある。馬力をいくら大きくしてもだめである。ドイツのメッサーシュミット機が時速七五〇前後で飛んだのが最高である。

馬力を大きくしてもどうして速く飛べないのか不思議がる者がいる。馬力を大きくすればある程度は速く飛べるが壁にぶつかる。水中で板を静かに動かすと水は板の回りについてくるが、速く動かすと後側に水はついてこない。こ

図書館だより

読書会とお話教室のお知らせ

◎読書会

4月16日(日)、午後2時から4時まで市立図書館2階で開きます。

今回読む本は、カニグズバーグの「クロードディアの秘密」です。本は図書館で用意します。

◎お話教室

毎月2回、第1、第3土曜日の

れと同じ理屈で、大馬力のエンジンで大きなプロペラを速く回転させても空気がプロペラについてこない。空回りすることになる。これが大馬力のエンジンをつけた飛行体が馬力に比例して飛べない大きな理由である。日本でもシリ

ングーの数が二十八個もあり、四千馬力を目指した空冷エンジンが試作されたが実用直前で終戦となり飛ばずに終わった。日本の都市を焼け野原にしたB29は二千二百馬力前後のエンジンが四個ついた爆撃機であつた。

新刊案内

一一般図書

九時まで待つて (田辺聖子) ▼
くらしのうた (宮尾登美子) ▼
春燈 (宮尾登美子) ▼
絵本とは何か (松居直) ▼
尾瀬ハイキング (蜂谷緑)

【児童図書】

あしたふたの日はたじかん (矢玉四郎) ▼
ぼくとときどきふた (矢玉四郎) ▼
とこちゃんのライオン (うちのとくろう)

南国歌壇

枯草の中より芽吹きしよもぎ葉のみどり包みし綿毛ひかりぬ

立田 北村賀寿恵

含羞の武家娘かと見まがふや
骨を救かな武家屋敷跡 (安芸市
の土居邸中) 大埔乙 中田憲秀
幼らがはしやぎて飛ばす風船の
雲なき初春の空に吸わるる

岡豊町 武樋信子

さようなら連絡船もきよう限り
思い出尽きぬ北の海峡

後免町四丁目 刈谷益子

清純の汗を流せし舟入れの
若き水面に輝る春の陽
言問はむ人今亡くて遅れ妻
十とせ無聊の春も過ぎ行く

立田 池田小村

南国柳壇

青函のロマン消えゆく最終船

甘枝 島田稔子



南国俳壇

包みたる臘夕づく紀氏邸趾

指触れてより露蛸の跳びはじむ

沈丁の香の闊奪ふ露地に入る

椿見て老の一日うめつくす

たんぽぽと空見て堪能す

真冬日のまん中に盛るあめこ鮎

花馬酔木吹かれて散らす雨霽

散策の山路笛鳴きしきりなる

春寒し税務署の扉を押して入る

竹内とし子 (国分佐鐘句会)

田内賀代子 ()

高橋以登 ()

岡崎美枝 (忍冬句会)

公文政子 ()

小松ふみ ()

松浦智恵子 (柿の実会)

小松千都 ()

橋本きよ女 ()